



ウメ (梅)

(下新)

下新公会堂の玄関脇にあるこのウメの古木は、かつて新関地区の大地主であった本間家の屋敷に植えられていた幾本かのウメの一本ではないかといわれています。その幹周りは1.5m、高さは7mあり、樹齢は約200年と推定されます。

ウメは春の訪れを告げる花木として、多くの家で植えられています。この木は均整のとれた姿と樹勢、風格とともに優れ、また、多くの人々が集う場所からシンボリックな樹として親しまれており、新関地区の名木の一つに数えられています。

清らかな香りを放つ梅の花。その香りの成分は50種類以上あり、中でもベンツアルデヒドが主要成分といわれています。しかし、いまだに香気成分は完全には解明されていないようです。

新津市の人口

男	32,221 (-13)	1月31日現在
女	34,511 (-24)	
計	66,732 (+37)	()内は前年比
世帯数	19,117 (+30)	
1月中の動き		
出生	58	死亡 49
転入	133	転出 105
結婚	18	離婚 7



親離れ 松村由香 (滝谷町)

今年でもう二十五歳を迎える私ではあるが、ようやく希望していた職種に就職が決まった。そして最近、親離れを考えるようになった。私の思うところの別の言葉で言い換えれば、「自立」である。人それぞれ時期こそ違いうだろうが、私にもその自立の時が来たようだ。

ったことは、親のありがたみと大切さであった。自分のやりたいこと、試してみたいことを応援してくれる両親の支えがなければ、今の私はいないだろう。面と向かっては照れ臭くて今まで言えなかったけれど、この場を借りて感謝の気持ち伝えたい。

— ありがとう。 —
自立を考えるようになってから、ずいぶんと前に何かで読んだ文章をふと思いだし、実感している。うら覚えではあるが、記憶をたどってまとめるとこんな内容である。：子どもはまず母親愛する。それは自分を保護してくれる存在だ

このバトンを市之瀬の塩田史子さんへリレーします。

からだ。つまり、自分を愛して守ってくれる者を求める。愛してくれる対象に寄り添うことが、愛だと思っっている。やがて大人になると、愛は相手の存在を守り慈しむことだと分かってくる。それが分からない人間は、いつまでたっても愛してくれる相手を求める子どもである。：
いつまでも親に寄りかかって安心しているのとはなく、いい意味での親離れができた、と思う。そして、他人に優しく自分には厳しい、それを実践できる人間になりたい。

このコーナーは、寄稿者が次の寄稿者を紹介して随想をリレーしていくコーナーです。

お買物、ご用命は市内で

〈洋食の店 キッチンK〉

歓送迎会・御宴会
3階(お座敷)にて承ります。

3月の休休日 6・12・13・20・27
(月)(日)(月)(月)(月)

本町2丁目イザワくつ店横



TEL 24-5420

* — おわび

2月1日号広報の金子泰之さん(秋葉1)のリレー随想において、執筆者に無断で文章に手を加え、その結果、執筆者の意図する効果、印象などを著しく損ねたことをおわびするとともに、今後はこのようなことがないように十分に注意いたします。

新津市 企画調整課